

Ⅲ 令和3年発生災害の改良復旧事業

1 改良復旧事業

改良復旧事業は、被災箇所の災害復旧(原形復旧)のみでは、維持上、公益上、十分な効果が得られない場合に、未災箇所を含む一連の区間について、再度災害の防止と構造物の強化等を図るために実施する事業である。

改良復旧事業には、全額災害復旧事業費で改良復旧まで行う「一定災」と、災害復旧費に改良費を加え、一定区間を改良復旧する「災害復旧助成事業」、 「河川等災害関連事業」、 「特定小川災害関連環境再生事業」、 全額改良費で実施される「河川等災害関連特別対策事業」がある。

- ・ 令和3年発生災害の改良復旧事業 ・ ・ ・ ・ ・ 該当あり (河川1件)

2 河川等災害関連事業 (関連)

災害関連事業は、被災箇所の災害復旧のみでは、維持上、公益上十分な効果が得られないため、未災箇所を含む一連の施設について一定計画に基づき、災害復旧費に改良費を加えて実施する改良事業である。

令和3年発生災害の復旧事業に当たり、河川1件について災害関連事業の採択を受けた。事業費は、災害復旧費114,351千円、改良費85,999千円で総事業費は200,350千円であった。

(1) 令和3年発生災害関連事業箇所調査(総括)

(単位:千円)

事業 主体	河川 路線名	水系名等	施工位置		事業費			延長	被災年月日 異常気象
			市	郡町村	災害費	改良費	計		
県	一級河川 海老川	一級河川 川内川	薩摩郡	さつま町	114,351	85,999	200,350	L=689.0m	令和3年6月27日 ~7月11日 梅雨前線豪雨
合計	1箇所				114,351	85,999	200,350		

(2) 令和3年発生災害関連事業箇所調査(細目)

河川路線名		一級河川海老川					
計画概要	計画雨量(mm/h)	81.3					
	確率	1/10					
	流域面積(km ²)	5.6					
	計画流量(m ³ /s)	90					
	比流量(m ³ /s/km ²)	19.6					
	計画河床勾配	1/23~1/405					
	計画川幅(m)	6~13					
	計画水深(m)	1.5~4.2					
	余裕高(m)	0.6					
築堤計画天端幅(m)	3.0						
計画法勾配(m)	1:2.0						
地質(河床構成)	砂質土						
経済効果	田(ha)	6.4					
	畑(ha)						
	宅地(a)						
	人家(戸)						
	道路(km)						
	鉄道(km)						
	交通量(台/日)	3,000					
バス路線(台/日)							
採択基準	査定方針第19 条1(二)イ, (ハ),(ホ)						
事業費	本工事費(千円)	187,011					
	付帯工事費(千円)						
	測量及び試験費(千円)						
	用地及び補償費(千円)	11,650					
	工事雑費(千円)	1,689					
適要							